



▲白熱した大玉トマトの早食い競争

地域が誇る冬トマトをPR
 やつしるTOMATOフェスタ

1月25日、道の駅「竜北」において、第3回やつしるTOMATOフェスタが行われました。

このイベントは生産量日本一である八代地域の冬トマトをPRすることを目的としています。

特設ステージ上では、町内保育園の園児と「ひかりん」、イベントキャラクターの「とまピン」による軽快なダンスや、大玉トマトの早食い競争、ビンゴ大会などが行われ、会場を盛り上げました。

また、試食コーナーでは「トマトだご汁鍋」が振る舞われ、行列ができるほど好評で、トマト一色に染まった一日となりました。



▲号砲とともにスタート(熊日駅伝スタート)

たすきリレーをしながら
 熊日都市対抗駅伝大会

1月25日に第32回熊日都市対抗女子駅伝大会、2月8日に第41回都市対抗熊日駅伝大会が、それぞれ19郡市により行われ、氷川町が八代郡代表として出場しました。

女子駅伝では、出場選手の急病などでメンバー変更を余儀なくされる中、5区の岩村聖華選手(肥後銀行・高野道出身)が区間6位となる力走を見せるなど、18位と健闘を見せました。

また、熊日駅伝では、強風が吹くなど悪天候の中、限られた戦力で力走し、結果は最下位でしたが、他のチームに負けないチームワークで、全区間を走りきりました。



▲沿道からの声援を受け力走(女子駅伝3区)



▲懸命のたすきリレー(女子駅伝第3中継所)



▲100歳おめでとうございます

祝100歳
 氷川町長表彰

1月26日、前日に100歳を迎えられた鉄島アキエさん(榕)に長寿のお祝いとして藤本町長から、お祝い状と花束が手渡されました。

アキエさんは大正4年生まれで、ご主人を戦争で亡くし、女手一つでお子さんを育てあげるなどの苦労もありましたが、ご家族と一緒に、自宅で元気に過ごされています。

アキエさんにお話しを伺うと「長生きできたのは家族のおかげです。孫の書いた『生きる力』という習字を飾っていて、元気をもらっています」と長寿の秘訣を話されました。

アキエさん、これからもますますお元気にお過ごしください。



▲食の名人の包丁さばきに注目

食の名人から学ぶ
 担い手女性グループ加工研修会

1月12日、文化センター調理室において、氷川町担い手女性グループによる加工研修会が行われました。

講師にはテレビ番組「満天青空レストラン」にも出演された、八代市東陽町の「ふるさと食の名人」である、前田スエミさんを招き、すぐに作れるおいしい料理を学びました。

メニューは、シヨウガのきんぴら、シヨウガのきんぴら炊き込みご飯、トマトとレタスのかき玉汁、果物のヨーグルトあえの4品。

晩白柚には、あらかじめ砂糖をまぶしておくとおいしくなるといった工夫も話され、会員は熱心に聞いていました。



▲左から花田愛依さん、村上瑠奈さん、三好琉奈さん、矢野那奈さん

ベストコンビで活躍
 小学生がバドミントン大会で活躍

1月17・18日、宇城市総合体育文化センターにおいて、バドミントンの「2015松橋トーナメント小学生大会」(松橋町バドミントン協会主催)が行われました。

小学生女子5年生以下ダブルスの部では16チームが出場。決勝戦は氷川町の宮原ジュニアバドミントンクラブに所属するペアの対戦となり、白熱した試合展開となりました。

熱戦の結果は、花田愛依さん(新村南)・村上瑠奈さん(早尾北)ペアが優勝、三好琉奈さん(今)・矢野那奈さん(西上宮)ペアが準優勝。

日頃から練習で切磋琢磨されており、今後も活躍が期待されます。



▲優勝した第7分団の規律正しい整列隊形

防災防火の決意新たに
 消防団出初式

1月18日、桜ヶ丘グラウンドにおいて、平成27年氷川町消防団出初式が行われ、15分団511人の参加がありました。

式典では、各分団が消防音楽隊の演奏とともに整然と入場。前田博文副団長の総指揮者宣言により幕を開けると、古里英二団長による訓示や、長年消防団活動に貢献された団員表彰などが滞りなく行われました。

続く通常点検では、各分団が日頃の訓練の成果を披露する中、第7分団が見事に優勝を飾りました。

また、吉野保育園の幼年消防クラブも大人顔負けの点検演技を披露し、式典に華を添えてくれました。



▲小さな消防団の素晴らしい点検演技



▲防火の祈りを込めて一斉放水

【通常点検成績】

- 優勝 第7分団
- 2位 第8分団
- 3位 第5分団
- 躍進賞 本部分団